

議会だより

第13号

■発行:佐渡市議会 ■責任者:梅澤雅廣 ■編集:議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259)57-8133



佐渡市消防大会

6月定例会

- ★平成19年第2回佐渡市定例会 2p
- ★人事案件・請願・その他 …… 3p
- ★一般質問…………… 4～12p
- ★常任委員会活動報告… 13～15p
- ★特別委員会活動報告…………… 15p
- ★議会質問その後…………… 16・17p
- ★平成19年3月定例会常任委員会の
要望・意見に対する処理状況… 18・19p
- ★傍聴のこえ・議会のうごき・
行政視察来市状況・編集後記 20p

平成19年

第2回佐渡市定例会

平成19年第2回(6月)定例会が6月12日～26日の15日間の会期で開催されました。

一般質問には16人の議員が登壇し、市政をたどしました。

予算について、歳入歳出に6910万1000円を追加し、総額を453億4910万1000円とする一般会計補正予算案など24議案を可決、人事案件2件に同意しました。

また、新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について、佐渡市として、市民厚生常任委員長が選任されました。

主な議題

◆専決処分の承認を求めることについて

平成18年度佐渡市一般会計補正予算(第7号)について
佐渡市税条例の一部を改正する条例の制定について
平成19年度佐渡市老人保健特別会計補正予算(第1号)について

◆国仲学校給食センター建設(建築)工事請負契約の締結について

◆真野小学校改築(建築)工事請負契約の締結について

◆佐渡市消防本部新庁舎建設(建築・電気設備・機械設備)工事請負契約の締結について

◆高機能消防指令センター総合整備事業に係る離島型通信指令装置購入契約の締結について

◆平成19年度佐渡市一般会計補正予算(第1号)について

◆人権擁護委員候補者の推薦について

人事案件・請願・その他

◆人権擁護委員候補者の推薦について

大澤 正 興 (羽茂地区)

◆佐渡市五十里財産区管理委員の選任について

辰 間 策 栄 (佐和田地区)

◆全国市議会議長会及び北信越市議会議長会表彰

梅 澤 雅 廣 (市議会議員在職15年)

肥 田 利 夫 (市議会議員在職15年)

大 澤 祐治郎 (市議会議員在職15年)

兵 庫 稔 (市議会議員在職15年)

祝 優 雄 (市議会議員在職15年)

渡 部 幹 雄 (市議会議員在職10年)

岩 野 一 則 (市議会議員在職10年)

熊 谷 実 (市議会議員在職10年)

※町村議会議員であった者は、その在職年数の1/2に相当する年数を通算する。

継続審査となった請願

◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願

◆アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める請願

◆日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上にむけた施策の強化を求める請願

不採択となった請願

◆大型給食センター化ではなく地域に根ざした学校給食で食育をすすめることを求める請願



一般質問



ココが聞きたい!!

大澤 祐治郎 議員……………⑤

◆一貫性のない政治姿勢をただす

本間 千佳子 議員……………⑨

◆みんなが参加できるまちづくりを

加賀 博 昭 議員……………⑤

◆タコ箱のロープ切断に漁民怒る

渡邊 庚二 議員……………⑨

◆健康づくりに具体策を

金光 英 晴 議員……………⑥

◆市長の政治姿勢について

佐藤 孝 議員……………⑩

◆指定管理者その後の運営は

金子 健 治 議員……………⑥

◆障がい福祉の充実を

祝 優 雄 議員……………⑩

◆環境衛生検討会の扱いと対応は

村川 四 郎 議員……………⑦

◆教育現場でのフッ素洗口は即中止を

廣瀬 擁 議員……………⑪

◆旅館・ホテル市税滞納2億円超す

田中 文 夫 議員……………⑦

◆佐渡市づくりについて(集権化から分権化へ)

木村 悟 議員……………⑪

◆観光の島づくり

岩崎 隆 寿 議員……………⑧

◆島内産木材の地産地消対策は

小杉 邦 男 議員……………⑫

◆地域審議会は有効に機能していないのではないか

中村 良 夫 議員……………⑧

◆1600食分が国中学校給食センターで

近藤 和 義 議員……………⑫

◆福祉・医療体制の向上を図るべき



一般質問

大澤 祐治郎 議員

一貫性のない政治姿勢をただす



渡市財政は間違いなく夕張と同じ運命をたどる。なぜ簡単にぶれるのだ。

市長 合併時の約束でもあるので、確かに財源のめども立たないこともあり迷っている。条例第1号にも新庁舎の建設の位置は決まっているのと、私の今任期中に新築庁舎をといた公約もある

質問 合併当初から一貫性のない市長の財政運営は間違っているかと追求してきた。箱物は再利用して財源の無駄は絶対するなど進言したが、また、地域びいきに言われ、金井庁舎に佐和田の議会棟を併合せよという大きな声に振り回され、執行部の庁舎建築検討会が悪巧みを考えて数箇所の候補地をリストアップしたと聞いたが事実か。

質問 凝り性のない執行部だ。一方で財政ひっ迫状況を考えたら、とても9億、10億を使って庁舎の一元化は無理だと3月議会の私の質問に市長も総務部長も答えておきながら、市民感情を逆撫でする背信行動は許さない。執行部は条例第1号(佐渡市役所の位置を定める条例)を誤解している。あくまでも新築庁舎の場合、金井千種沖であつて、現在の金井庁舎に増築や合築をしても良いという条例ではない。金井庁舎を使うなら今の庁舎と同規模の庁舎棟を合築しなければならぬ。10数億円を掛け

て建築する財源が確保できないのか。絶対にそんな財源は現佐渡市の財政にはないはずだ。佐渡市の財政評価をして特例債事業を待たずにこの間推移すれば、佐

総務部長 言うとおり6部内では2か所検討に上げた。国営水利事業所と金井コミュニティセンターを検討してみたが、国営水利事業所は狭いのと改築費がかさみ、金井コミュニティセンターは防衛省が目的外使用になるということで、議会棟として使用することは難しいということから結論は出ない。

6月議会に本庁舎について新築するか、他施設を利用するか、合築をするか結論を報告すると言っている。

総務部長 財政的な中身については何にも分かりませんが、条例第1号に金井に庁舎を建てることは専決で決っている。



一般質問

加賀 博昭 議員

タコ箱のロープ 切断に漁民怒る



灰溶融問題について

質問 5月21、22日に小木と両津大川の灰溶融施設に会計検査が入った。明暗がくつきり分かれたが、内容はどうか。

市長 メルティングセンター佐渡は、立派に運転している。南部の施設については、直して使うか、このまま休止するか佐渡市で決めるよう、県を通じて指摘された。

稲のエタノール実証研究問題について

質問 筑波大学と稲のバイオ燃料について実証研究に入ったが、佐渡が実証事業に備えて今からチームを作っている必要があるのでは。

市長 佐渡の漁民が二丸となつて行動すべきで、私もその先頭に立つて行動する用意はある。

住民税について

質問 自公連立政府の「定率減税」廃止と低所得者の税率5%を10%に引き上げたことで、住民税はどうなつたか。

市長 現在、24億1700万円が35億7200万円になり、差引、1億5500万円の増収になる。

国中学校給食センター問題について

質問 5月21日、お母さん方が市長に会って入札を延期して説明するようにと交渉した。市長は、今後も話し合いの場を設けると答えているが、

市長 入札は中止できないが、保護者の説明は尽くしたい。市は黙って認めたのか。

病院問題について

質問 県は3月に「新潟県条例第10号」で自治医大卒の両津病院、相川病院の医師2人を佐渡病院に派遣する道を開いたが、県に対して市は黙って認めたのか。

市長 2月に県から話があつて、それは困ると伝えた。

タコ箱ロープ切断事件について

質問 タコ箱ロープ切断事件は国の操業許可の底曳船が、



市長に切々と訴える漁民

一般質問

金光 英晴 議員

市長の政治姿勢
について

【質問】 市民との協働が、行政のPR不足、努力不足で不十分でないか。

【市長】 難しい問題だが、できるだけ広報紙やCNS、ホームページ等を利用して意思疎通に努力していきたい。

【質問】 住民説明会に参加者を多くするあり方を検討すべきでないか。

【市長】 一人でも多くの方が参加するよう模索し開催していく。

財政計画について

【質問】 財政再建団体にならないための特例期間の財政計画について示すべきではないか。

【市長】 何度も見直したが、状況が大きく変わったので、思い切った計画変更が必要と考えている。

行政改革について

【質問】 借地に建つ行政施設は今後どうするのか。

【市長】 過去の経緯での現況であるが、今後は土地の買収や返還を含めて見直ししていきたい。

【質問】 指定管理の入浴施設は今年で契約が終了する。今後はどうするのか。

【福祉保健部長】 指定管理が終了する7つの温泉施設の今後の運営を委員会で検討中である。指定管理の施設決定後は8月ごろに業者募集と選定を行い、12月議会上程の予定。

【質問】 第三セクター、公社管理施設の運営状況についてはどうか。

【産業観光部長】 各施設ともに利用者減少等で18年度は赤字決算だが、今後は利用者増とコスト削減をより進め赤

字解消に努力する。

都市計画の状況、農業振興地域の見直しについて

【質問】 市の都市計画のその後の取組み状況はどうなっているか。

【市長】 両津、佐和田、真野、相川の都市計画区域を1つにするため作業中である。また、本年度から2か年かけて市の街づくり将来像のマスタープランを策定し、土地利用や用途について検討する。

【質問】 農業振興地域の見直しはどうなっているか。

【産業観光部長】 手続きが複雑で時間が必要だが、関係者の協力を得てできるだけ速やかに進めたい。



指定管理施設の「ビューさわた」

一般質問

金子 健治 議員

障がい福祉の
充実を

【質問】 障害者自立支援法の施行以来、様々な課題が指摘されたことから、政府は、利用者負担の軽減や事業者に対する激変緩和措置等の特別対策を講じようとしているが、自立支援医療での医療費助成は療育手帳B所持者にも、市独自の救済策はないものか。

【市長】 県障医療は、医療にかかる機会が多い障がい重度の人の医療費の負担を軽減することを目的とした県の単独事業で、療育手帳Aの人は対象になつていない。現在、療育手帳Bを所持している障がい中軽度の人については、障害者自立支援法の趣旨に沿って、その人のニーズに合わせた支援策を検討していきたい。

佐渡の地域医療について

【質問】 医療スタッフの確保を含め病院経営の効率的運営については、佐渡地域医療全体でビジョンを考えなければならぬときである。効率的運営のため、市立2病院を県厚生連に経営移譲すべきと考

【市長】 市立病院運営委員会が昨年9月に条例制定され、今年度4月から15人の委員による協議検討が始まっている。当面、この運営委員会の動向を見据えながら慎重に見極めたいと考えている。

【質問】 羽茂病院



厚生連羽茂病院

は南部地域の医療の拠点として、その果たす役割は大変大きなものがある。国の医療費改定により急速に経営の悪化を余儀なくされたが、医師と職員の懸命な努力により、新年度は大幅に収支が改善しつつある。羽茂病院の赤字部分への支援は必要と考えるが。

【市長】 医療は佐渡島民が等しく受けられたいとまず



一般質問

村川 四郎 議員

教育現場での フッ素洗口は即中止を



【質問】 フッ素洗口が95%未

で強行する根拠は何か。

実施の全国で、新潟と同じ曲

【市長】 フッ素洗口は県の学

童の虫歯減少に成果がある。

果と副作用で判断するとフッ

素洗口は疑問点が多い。また、

市の実施方法は、薬事法と

【教育次長】 幼少時からのフッ

素洗口は虫歯予防に効果が

あり、保護者判断で希望者

だけに所定の手続きに沿い

実施したい。

【福祉保健部長】 合併前

から実施の町村も多

く、市の実施要領がで

きたら全校で再開し

たい。

地産地消は かけ声だけか

【質問】 今後の計画と

農水産物の具体的数

値目標はあるのか。

【産業観光部長】 今年か

ら地産地消担当を商

工課内に設置。今は調査段
階であり数値目標は、まだ設
けていない。

【質問】 地域活性化のため地
元業者、地元商店活用も地
産地消ととらえるべきではな
いか。

【産業観光部長】 地元商工業活

性化のため、地域資源活用

活性化事業を展開し地産地

消を進めたい。

【質問】 大型給食センターの

食材や真野小学校建設に佐

渡産材の使用を担保すれば、

簡単に地産地消が進行する

ではないか。

【市長】 当然、入れていると思

つたが、再度確認すべきだった。

佐渡の活性化、 未婚率増加をどうする

【質問】 具体的対策と新設

の結婚担当員の仕事は。

【市長】 市には、適齢期で未

婚の女性が約1500人いる

出会いの場をつくるため結婚

担当員を設けたが、成果を

上げるには、もう一工夫い

と考えている。



一般質問

田中 文夫 議員

佐渡市づくりについて (集権化から分権化へ)



地域づくりについて

【質問】 地方自治体の死命

を決するのは、基礎的自治

単位の再編・統合による活

性化(自治機能の保持・強

化)と考えるが、地域再生と

新たな地域づくりについて問

う。

【市長】 地域の活性は、人間

に所属するものであり、旧

市町村の枠組みを超えた人

間の活力は徐々に必要になっ

て来るとしても、支所の統廃

合は急務であり、NPO等新

しく育つ芽を摘まない配慮

をしながら、旧来の地域をベ

ースに進めざるを得ない。合

併協では、3〜4ブロックの議

論があったが、現状では各支

所の最低の機能はどこらあ

たりかを精査した上でスター

トしたい。

本庁整備と支所の 統廃合について

【質問】 自治機能の拡充強

化と行政組織改革は佐渡市

づくりの車の両輪の如きも

のである。地域づくりを進め

るに当たってセンター的役割

を担う支所の在り方は重要

である。建設2期目は支所

の統廃合を待たなしに具

現せねばならない。具体的

計画を問う。

【総務部長】 まず、いかに職

員を適正規模の職員数に持

つていくかを基本に考えてい

る。その上で支所の数、統廃

合した場合の出張所におけ

る人員を、支所にどのような

な仕事が必要から検討し

ている。

【質問】 支所と本庁との関

係はどうなるか。私見では、

観光を主体とした西部湾岸

エリア、農業の国仲エリア、ト

キとともにのエコエリアに分
けてそれぞれ支所を置く。
もつと言え、佐渡を縦に2

つ割りにして両津と佐和田

に総合窓口を持った支所を

置き、センターの金井本庁は

窓口を持たず事務の二元管

理・統括をする。

【総務部長】 本来であれば、

本庁1つ、支所はいらない。た

だ、佐渡の地形を考えると

そうもいかない。本庁があつ

て支所があるということに

なると本庁に窓口(支所機

能)を置かないというわけに

はいかない。

【質問】 問題意識にかなり

ずれがある。中央集権型か

群雄割拠型かは大いに議論

が必要だ。

【市長】 合併前は中心に頭

脳を置いた分権型がよいと

思っていたが、今さら後戻り

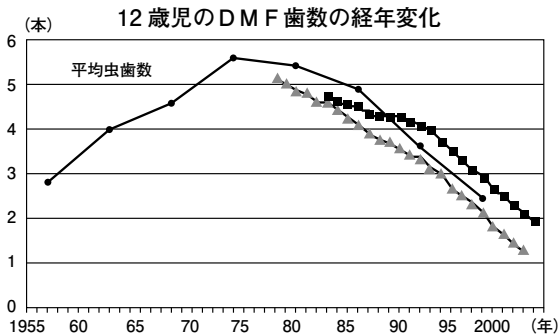
もできないので、当面佐渡型

集権・ぎりぎり支所をスリム

にして、新しい自治機能が生

まれるかどうかを探っていく

しかないのではないか。



※出典：厚生労働省：歯科疾患実態調査 文部科学省：学校保健統計調査
新潟県：小児う蝕実態調査 (小児の歯科疾患の状況)

一般質問

岩崎 隆寿 議員

島内産木材の
地産地消対策は

【質問】 島内産木材の地産地消への対策は、どのように行っているのか。

【市長】 全市一体の推進を図るために、地産地消担当者

を配置した。また、島内の森林組合や製材業者と住宅関連業者等による事業体の連携強化も行っていく。

廃校舎の活用方法は

【質問】 小中学校の統合によって、今後、空き校舎は28校にも上るわけだが、その管理について基本的な考え方を聞きたい。

【市長】 有効な活用方法を見いだすとともに、活用が難しいものについては、売却、譲渡を含めた処分の検討をする。

【質問】 旧二見中学校の今後の取扱いについて、現在の進捗状況はどうか。

【総務部長】 使用が可能かどうか

か調査を行った。その結果をもとに地元と今後、協議を進めていく。

定住促進事業の成果は

【質問】 U・Iターン向け空き家情報の成果はどうか。

【市長】 佐渡市のホームページ上でこの事業の発信を行っている。その他、現地視察に対する交通費の補助（上限2万円）、また、ハウスクリーニングサービスにより一定の成果を上げている。

文化財指定建造物の

耐震性は

【質問】 佐渡金銀山世界遺産に関して、文化財指定を受けている建造物の耐震について、どのように考えているか。

【教育長】 文化財指定を受けている建造物はかなりの年月が経っているので、耐震補強を行わなければならないと

考えている。

【質問】 文化財未指定の建造物については、どのように考えているのか。

【教育長】 宿根木の重要伝統的建造物群保存地区指定の調査は、大学の協力を得て行った。今後も、大学の協力が得られるようであれば、是非お願いしたいと考えている。

【質問】 文化財指定の予定のない重要な建造物についてはどうか。

【教育長】 世界遺産運動を推進する上で、極めて重要なことであるので、所有者の理解を得て、保存に努めていきたい。



宿根木伝統的建造物群保存地区

一般質問

中村 良夫 議員

1600食分が国仲
学校給食センターで給食センター化で
我慢しろとは

【質問】 自校方式の学校給食は「おいしい」と先生方の間では常識だが。

【教育長】 温かく、においがあるからおいしいが、センター方式にして我慢するところは我慢してもらおう。

【質問】 センター方式は、汁物は少ない、揚げ物・冷凍物が多いなど、運搬や調理・後片付けの楽なもの为中心で、子どもの顔が見えない給食作りであり仕事の能率が優先する。現在、自校方式の学校は。

【学校教育課長】 両津は前浜小中、浦川小、北中、内海府小中、相川・新穂・小木・羽茂地区の全小中学22校でやっている。

きめ細かい自校式給食

【質問】 自校方式は、子ども

「保護者、市民不在」
市教委に伝えとは

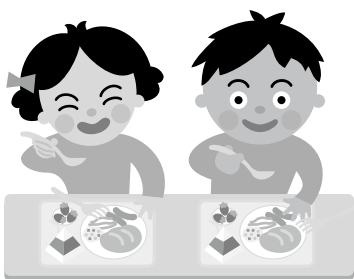
市教委に伝えとは

の笑顔が先行し、心の通った給食である。地域の食事情、その学校の子どもの実態に合わせた献立工夫が必要だ。学校給食の全体計画は、だれが作っているのか。

【学校教育課長】 県・市の栄養士が献立を作り進めている。

【質問】 実際には、学校給食の全体計画は学校の先生が作っている。地域の食事情、産物、行事、健康状態など多角的に検討を加え立案されている。先生、栄養士、調理員の意向を聞いているのか。

【教育長】 努力していく。





一般質問

本間 千佳子 議員

みんなが参加できる まちづくりを



支援の構築を検討したい。地域担当職員は地域ごとに紙面で発表し、7月からスタートしたい。

子育て支援について

解を問う。

都市宣言について

【質問】 平成16年3月に10か市町村が合併をしているが、「都市宣言」がない。未だに「都市宣言」の必要性をどのようにとらえているか。

【市長】 合併前の旧市町村では「平和非核宣言」「体育のまち宣言」など、いろいろあった。佐渡市の状況が整ってからとして先送りしてきたが、環境、文化、伝統、トキの放鳥等と世界文化遺産も含め、大きなテーマが見えてきたので検討したい。旧市町村の「都市宣言」は、地域の個性を強く出したもので効果があったと思っている。

平成19年度新規事業 出前市役所

出前市役所、地域担当職員の配置発表、出前市長の実施を地域住民は待っている。進捗状況を聞く。

【質問】 出前市役所、地域担当職員の配置発表、出前市長の実施を地域住民は待っている。進捗状況を聞く。

【質問】 佐渡は「エコアイランド」を目指し、対岸の北東アジアを始め世界に発信する大きな役目にある。環境問題に取り組み姿が観光産業にまでつなげられると考える。見

か、集落は何を望んでいるか、

【総務部長】 「市民と市役所が遠くなった」の意見が多くあるところから、昨年来、担当会議を重ねてきた。地域づくりにどんなかわりを持てるか、集落は何を望んでいるか、

○妊産婦健康診査の現状（厚生労働省調べ）

厚生省の通知により、妊娠初期から分娩まで、14回程度の受診が望ましい回数として示されている

※14回程度とは以下の考え方により積算されている

- ① 妊娠初期から23週 :4週間に1回
- ② 妊娠24週から35週 :2週間に1回
- ③ 妊娠36週以降分娩まで :1週間に1回

平均的な健診費用は1人あたり約11.7万円（日本産婦人科医学会調べ）



一般質問

渡邊 庚二 議員

健康づくりに 具体策を



ごとの時限立法である次の第7次振興法は、高野会長の手でまとめることになるが、人の住める島づくりができる内容にすべきでないか。

【市長】 人が住めるということとは重要で、人がいなければ竹島のような問題が起きる。十分心掛けたい。

【質問】 市は、「健康さど21計画」によって、健康づくりの方向性を示している。市民の健康づくりに最も必要なことは、運動不足の解消である」と指摘されている。具体的な働きかけをすべきである。私は、2月18日の東京マラソンに参加して、4時間台で完走した。申し込みと同時に、2km、3kmと始めて、6か月でマラソンを走れる体を作り上げることができた。人間の体に可能性が秘められていることを実感している。この可能性を引き出すことが健康づくりである。

【質問】 市長は、離島振興協会の会長に選任された。政府部内でも重要視される組織の代表で敬意を表したい。離島は、面積では、国土の1.4%、人口では0.4%しかないが、日本の国土面積が、38万km²で世界の60位であるのに、排他的経済水域では、447万km²と世界の6位となる。離島があることによつて占有できる面積で、水産資源、国防、海底の未利用資源等、計り知れない利益をもたらしていることを大いに強調して、国に更なる離島対策の強化を要望すべきである。

【市長】 参考にして十分検討したい。

また、10年

また、10年



東京マラソン2007

一般質問

佐藤 孝 議員

指定管理者
その後の運営は

1トの中でいろいろな意見が出てくると思うので、それを受け対応していきたい。

公民館施設の
使用料徴収について

【質問】 協定内容に雇用問題も入っているのか。

【総務部長】 口頭では、今までどおり従業員を使っていたけど、ききたいと願いはしてあるが、協定書には入っていない。

【質問】 監査委員の監査やチェックができる機関を作るべきだが。

【総務部長】 監査委員の監査はすぐにでも行いたいですが、チェック機関については今後検討していきたい。

行政改革マニフェスト
は本当に達成できるか

【質問】 時間外手当の削減

【市民環境部長】 万引き対策は4月に実施する前に関係者から話題が出ていたが、万引き防止協議会で、万引き防止協議会ではポスターを作成した。市としては今後アンケート。

【質問】 市としては報告どおりの計画をしているのか。

【市長】 一般廃棄物処理基本計画を見直し、議会で見直しをいたしながら、市としての効率的な運営を図れるようにこれから進めていきたい。

【質問】 地域住民への説明会

【市民環境部長】 一般廃棄物

【市長】 当日は確かに検討会

【質問】 毎日、直接

【市長】 今後、慎重に検討し

【市長】 今後、慎重に検討し

一般質問

祝 優雄 議員

環境衛生検討会の
扱いと対応は

【質問】 5月17日、「佐渡市環境衛生検討会」が開催され、報告書を取りまとめた。報告書が市長のところに届いたのはいつか。

【市長】 環境衛生検討会からの報告書は、5月24日に会長から提出を受けた。佐渡市が合併して4年、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う中で、市民の立場で検討し、量を増やしたい。

【質問】 17日に開催された検討会を私が知ったのは、18日、新聞に出た日である。

【市長】 市長に報告をする前の新聞報道となった。情報の管理がなっていない。とんでもない話だ。検討会の管理体制はどのようになっているのか。

【市長】 当日は確かに検討会を公開で行った。議員の指摘のとおり、いかに民間の方にお願いした検討会と言えども、市長に報告が上がるわけ

【質問】 あのような新聞記事が出ると、市民は確定だと理解をするので慎重に行うべきである。それでは、両津クリーンセンターに事業系一般廃棄物として直接事業者が持ち込む件数と量を聞きたい。

【廃棄物対策課長】 両津クリーンセンターに直接持ち込まれる事業系一般廃棄物の量は、1日当たり平均で31件、1か月当たり平均搬入量は124トンである。

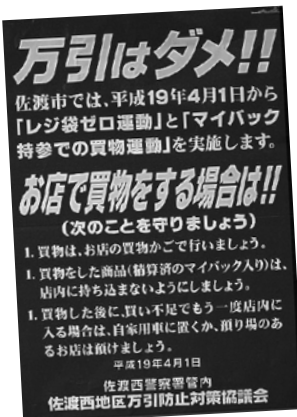
【質問】 毎日、直接搬入している人から「私たちは毎日クリーンセンターにごみを出さないと営業がで

きない。そのごみを毎日、佐和田まで持って行けと言うのか。これが行政のサービスと言えるのか」と厳しい指摘がある。このような状況を行政サービスと言えるのか。

【市長】 今の数量について私も初めて聞いたが、これらの検討なしには統合はできない。

【質問】 クリーンセンターの統合は、今の段階ではできないのではないか。数字だけを並べての議論は慎んでほしい。

【市長】 今後、慎重に検討し



万引き防止協議会のポスター

4月に実施する前に関係者から話題が出ていたが、万引き防止協議会ではポスターを作成した。市としては今後アンケート。

平成11年に稼動した両津クリーンセンター



平成11年に稼動した両津クリーンセンター